

令和4年度 評価事業一覧

No.	事務事業名	担当課名	班名	令和4年度 評価	令和3年度 評価
1	放課後児童健全育成充実事業	教育推進課	幼児総務班	A	A
2	子どもの不審者等対策事業 (旧 不審者対策事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
3	入学祝金事業(新規)	教育推進課	教育総務・指導班	A	— (R4新規)
4	就学援助事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
5	奨学資金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
6	学力向上対策事業 (旧 新聞活用教育推進事業を統合)	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
7	友好都市との学校間交流推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
8	官学連携事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	— (R3中止)
9	子どもの感性・創造力育成事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
10	ふるさと教育・キャリア教育推進事業 (旧 ふるさと学習教材編集事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
11	国際教育推進事業 (旧 外国語教育充実事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A	B
12	ICT活用教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
13	大学生等応援事業 (旧 県外大学生等応援事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
14	奨学金返還助成事業(新規)	教育推進課	教育総務・指導班	A	— (R4新規)
15	タイ王国との中学生交流事業 (旧 ホストタウン推進事業(中学生交流事業))	教育推進課	教育総務・指導班	B	B
16	家庭教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
17	青少年教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
18	成人教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
19	高齢者教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
20	芸術文化推進事業	生涯学習課	社会教育班 歴史文化財班	A	A
21	芸術文化交流促進事業(新規)	生涯学習課	社会教育班	—	— (R4新規)
22	芸術文化団体支援事業	生涯学習課	社会教育班	B	B
23	学習成果発表事業	生涯学習課	社会教育班	B	— (R3中止)
24	美郷カレッジ開催事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
25	伝統行事等伝承事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
26	後三年合戦関連事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
27	わら細工文化事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	— (R3中止)
28	ブックスタート事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
29	美郷オリジナル絵本作成事業(新規)	生涯学習課	歴史文化財班	A	— (R4新規)
30	読書・視聴覚環境向上事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
31	文化財保護事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
32	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
33	民俗文化財継承活動推進事業(新規)	生涯学習課	歴史文化財班	A	— (R4新規)
34	少年スポーツ振興事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A	A
35	スポーツ活動支援事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B	B
36	連携企業スポーツ活動推進事業 (旧 企業連携事業)	生涯学習課	スポーツ振興班	A	A
37	国際文化スポーツ交流促進事業 (旧 ホストタウン推進事業(交流キャンプ推進事業))	生涯学習課	スポーツ振興班	—	A

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	放課後児童健全育成充実事業		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	幼児総務班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2408)	
事業の目的	放課後や長期休業時、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。				
事業の内容	保護者が帰宅するまでの間、児童の保護及び遊びを主とした健全育成活動を行うとともに、その環境を整える。				
事業の対象	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校児童				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	15,375	13,467	13,427	11,582	20,387
評価年度目標 (目指すべき姿)	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に「高学年児童放課後対策事業」と「放課後児童健全育成充実事業」を一本化した。 就労等の理由で保護者が放課後時間帯に監護できない児童に対し、安心して過ごせる場所を提供することができた。 希望する全ての児童を引き受けることができた。 令和4年度登録数 347人(令和3年度登録数 289人) 支援員又は支援補助員が県主催の研修を受講し、資質向上を図った。 放課後支援者研修会(参加者数 7人) 放課後児童支援員等資質向上研修(参加者数 7人) 放課後児童支援員認定資格研修(参加者数 5人) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている				
	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	令和4年7月より、千畑小学校の音楽室をめだか児童クラブの支援室として利用。定員が70名から100名に増加したため、より十分な受け入れ体制が整った。また、支援室が増えたことにより、新型コロナウイルス感染症対策としても、余裕のある部屋割りや活動を行うことができた。放課後児童支援員の資格取得者も33人中31人となり、適切な知識や技能を習得した職員体制で育成支援を行った。今後も現状の水準を保って事業を推進していきたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおりに	

事業評価シート

事務事業名	子どもの不審者等対策事業 (不審者対策事業から改称)	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	暮らしの安全安心の確保	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)

事業の目的	子どもたちを不審者から守り、安全な学校生活を送ることができるよう不審者対策事業を行う。また、安全・安心メールを利用した迅速で正確な情報提供を行う。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の登下校時の見守り活動 安全・安心メールによる不審者、危険動物、気象、熱中症、感染症等の情報提供 				
事業の対象	児童生徒、町民の方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	107	98	157	48	48

評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心メール連絡システムを運用し、迅速で正確な情報を保護者及び関係者に伝え、児童生徒の安全を守る。 地域の方との連携により子どもたちを不審者等から守る。
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> スクールガードリーダーやPTA等による登下校時の見守り活動を実施した。 安全・安心メール連絡システムは、全認定こども園、小学校、中学校の保護者が登録し、不審者情報のほか、危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起などについて、迅速かつ正確な情報を提供した。

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	<p>A</p> <p>優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールガードリーダー等による登下校の見守り活動を実施したことにより、子どもたちを不審者等から守るとともに、路上での交通安全活動にも貢献できた。今後もスクールガードリーダーの配置を継続し、見守り活動を充実させていきたい。 安全・安心メールにより、保護者等に対し不審者情報のほか熊の目撃情報や、新型コロナウイルス感染症等の流行に伴う注意喚起、天候等による学校行事の延期や中止など様々な場面で、より迅速で正確な情報を伝えることができた。今後も継続し保護者及び関係者に必要な情報を伝達できるよう取り組んでいきたい。 		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	入学祝金事業(新規)	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	希望が叶う結婚・出産・子育ての支援	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2414)

事業の目的	児童生徒が、小学校または中学校に入学する際に、入学祝金を支給することにより、入学時における保護者の経済的負担の軽減、子育てへの支援及び児童生徒の健全な育成を図る。				
事業の内容	小学校又は中学校に入学する児童生徒の保護者を対象に入学祝い金を支給する。 ・小学校1年生 1人につき30,000円 ・中学校1年生 1人につき30,000円				
事業の対象	美郷町に住所を有している児童生徒の保護者。				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	-	-	7,320	6,660	7,057

評価年度目標 (目指すべき姿)	翌年度に小学校または中学校に入学する児童生徒の保護者に対し入学祝金を支給する。
実績・成果等 (数値)	・町広報紙やホームページ等で周知を図ったほか、教育推進課で把握している各小中学校の入学予定者の保護者に対し、個別に通知を送付し申請を呼びかけ、申請が遅れている家庭にはこちらから確認の連絡を入れ、申請忘れがないよう取り組んだ。 ・入学祝金支給人数(中学生:133人、小学生:89人)

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	各学校、園と連携しながら、対象となる児童生徒の保護者に対し、入学祝金について周知することができ、令和5年度に入学する新入生全員の保護者に入学祝金を支給することができた。 新規事業として実施したが、保護者の負担軽減及び子育て支援に結び付いているものと考えられるため、今後もこの事業を継続していきたい。		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおりに
------	---	--------	-----------

事業評価シート

事務事業名	就学援助事業		担当課名	教育推進課	
			担当班名	教育総務・指導班	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)	
事業の目的	経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な経費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。				
事業の内容	生活に困窮していると認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費、医療費等の給付金を支給する。				
事業の対象	生活保護法(昭和25年法律第144号)第6条第2項に規定する要保護者とそれに準ずる程度に困窮していると認められた者				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	12,515	7,739	11,587	8,136	11,747
評価年度目標 (目指すべき姿)	制度の周知を広く行い、就学に必要な経費を補助し、教育機会均等の保持を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校児童生徒の全保護者への個別通知及び町広報・町づくりガイド、町ホームページに掲載し、広く制度の周知を行った。また、関係課や各学校と連携を図った。 ・社会情勢の変化に伴う経済的影響を受けている保護者の負担軽減の一助となった。 ・令和4年度就学援助児童生徒数 小学生51人 中学生37人 計88人 (令和3年度 小学生54人 中学生40人 計94人) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	<p style="text-align: center;">A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>関係課・各学校と連携しながら制度の周知を行い、就学援助認定者の経済的負担を軽減している。社会情勢や経済・雇用情勢の変化等に応じ、適宜適切に制度の見直しを図ることで、教育機会の均等に向けて事業を推進していきたい。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業	担当課名	教育推進課
		担当班名	教育総務・指導班
総合計画の施策名	次代を担う子どもの育成	電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)

事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。				
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で修学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高等学校 月額15,000円 ・高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学 月額40,000円以内(1万円単位)				
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者。 (1)身体強健、品行方正で学業優良な者 (2)美郷町住民の子弟 (3)学資金に困難な者				
事業費(千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	15,746	8,239	14,481	4,879	8,421

評価年度目標(目指すべき姿)	①貸与:予算の範囲内で、経済的理由等により修学困難な者に学資を貸与し、有用な人物の育成を目標とする。 ②償還:歳入確保に向けて、返還者一人一人の経済状況に応じた返還計画に基く償還、また未納者に対しては催告の回数を増やす等対策を行い、回収率の向上に努めることを目標とする。				
実績・成果等(数値)	①貸与 ・町広報紙(3月号)と町ホームページで奨学生募集について周知した。応募者は大学卒2人、専修学校卒1人で、選考の結果全てに貸与が決定したが、決定後1人の辞退があった。 歳出(貸与):令和4年度奨学生貸与者数12人(内新規貸与者数2人) ②償還 ・返還者との納付相談、また未納者への通知、電話、訪問等の対策により回収率の向上に努めた。 歳入(償還):収入未済額 3,047,200円、滞納者数 13人 うち令和4年度未納額 490,000円、未納者数 6人 令和4年度収納率 97.07% (前年度比 1.69%減)				

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明及び考察	貸与については、予算の範囲内で応募者全てに対応できている。償還については、社会情勢の悪化による経済的影響を受けた方との納付相談、また未納者への電話や通知等による催告等の対策を行い、97.07%の収納率となった。今後も経済的な理由により大学等の修学に困難な美郷町出身学生に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を支援するとともに、収納率向上にもしっかりと取り組んでいきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

事業評価シート

事務事業名	学力向上対策事業 (新聞活用教育推進事業を統合)		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	児童生徒の課題に対応した取組や新聞活用教育を推進し、学力や読解力、判断力等の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着度調査、計画的な学習を実施するための検査の実施 学習状況調査の分析・活用と校内研修改善、授業力向上支援事業の実施 新聞活用教育の推進 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査(国語・算数):全小学校1、2、3年生 知的発達検査:全小学校2、5年生 中学校1年生 校内研修改善・授業力向上研修会 新聞活用教育:全小学校4、5、6年生 中学校全学年 				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,082	916	2,033	1,871	2,040
評価年度目標 (目指すべき姿)	学習状況調査と学力検査・知的発達検査の実施により状況を把握し、課題の改善に向けた研修を行う。また、新聞を読むことで、身の周りの様々な事象に対して、興味関心をもち視野の広い児童生徒の育成を目指す。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町校内研修改善・授業力向上推進事業として、秋田大学教授を指導者に迎え、各小中学校で算数・数学の授業研究会を各校1回実施 美郷町学力向上授業改善研修会の実施。令和4年度から、中学校の教員も参加。 個々の教員の授業改善をねらいとする、全教員一人1回以上の町内他校の授業参観実施 令和4年度県学習状況調査(小4～中2)における県平均以上の教科:21教科中16教科 (小学校4年～6年:11教科中10教科、中学校1・2年:10教科中6教科) 学力検査(小1～小3)における全国平均以上の教科:6教科中4教科 小中学校ともに5月より対象児童生徒に子ども新聞・中高生新聞を週1回配付 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	児童生徒の学習到達度及び課題を分析し、各学校と連携して学力向上に取り組んだ。その成果が県学習状況調査や学力検査の結果にも表れている。また、毎週1回の新聞配付や閲覧コーナーの設置に加え、各校では新聞記事を活用した様々な取組が行われており、新聞が児童生徒にとって身近なものとなってきている。今後も児童生徒一人一人の学力や読解力、判断力等を最大限に伸ばしていくために、事業を充実させていきたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	友好都市との学校間交流推進事業		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部と都市部の交流を通じ、児童の豊かな人間性を育む。 ・授業への参加や地域の方々とのふれあいを通して、それぞれの学校や地域のよさ、違い、課題などをつかむ。 				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校と港区立御田小学校の交流(昭和52年～) ・仙南小学校と文京区立千駄木小学校の交流(平成27年～) ・六郷小学校と大田区立高畑小学校の交流(平成28年～) 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校4～6年生、御田小学校4～6年生 ・仙南小学校5～6年生、千駄木小学校全校児童 ・六郷小学校5～6年生、高畑小学校全校児童 				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	900	—	900	600	900
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町や自校の紹介を通してふるさとのよさに気付き、学校や地域に対する考え方やまわりの人たちとの接し方を見つめ直すきっかけとする。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、学校の実情に応じて次のように交流を行った。 ・仙南小学校から千駄木小学校へ15人、千駄木小学校から仙南小学校へ17人が訪問。 ・千畑小学校と御田小学校の4年生児童がオンライン交流で互いの地域を紹介。 ・六郷小学校と高畑小学校の相互訪問交流を計画していたが、中止 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<p>各小学校の実情に応じて、相互訪問交流を行ったり、新聞や動画、オンライン等、教科の学習と結びつけた交流活動を実施したりした。</p> <p>活動を通して、児童は美郷町と交流地域との共通点や相違点に気付いたり、それぞれのよさを見つめ直したりすることができた。</p> <p>また、各校では交流先の学校から届いた新聞等を校内に掲示したり交流の様子を学校報で紹介したりするなど積極的に取組を発信している。訪問での交流に加え、学習を通じた交流の充実を図り、継続実施していきたい。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	官学連携事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2414)

事業の目的	秋田大学、国際教養大学と町内の園・学校が相互交流を行うことにより、児童生徒に上級学校へのあこがれをもたせ、異文化体験による国際理解を図る。				
事業の内容	秋田大学生によるコンサートの実施、国際教養大学の留学生を園・学校行事に招いたり、大学を訪問したりして交流する。				
事業の対象	町内園児、小・中学校児童生徒				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	180	—	180	75	180

評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町内各園、小・中学校が秋田大学、国際教養大学留学生との交流を通して、国際感覚を磨き、視野を広げる。
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田大学・・・美郷フェスタ2022「秋田大学音楽教育研究室学生によるコンサート」の開催。(出演者18名、来場者数188名) ・国際教養大学・・・訪問交流や派遣交流を通して、美郷町内148名の児童生徒が国際教養大学留学生との交流を行った。

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	秋田大学生によるコンサートは、水に関する曲を織り込んだ内容で、水環境を大切にしている町としてのPRと郷土愛の醸成に寄与する事業である。国際教養大学の留学生との交流は、園児・小学生・中学生の希望に応じた交流活動の実施が可能であり、異文化への興味関心や理解、コミュニケーションへの意欲を高めることが期待できる。両事業とも大学側との連絡調整を密にし、現状を踏まえた工夫改善を図り、事業を実施していくことが課題であることから、今後も担当者間の連携を密にし、事業を実施していきたい。		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	子どもの感性・創造力育成事業		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	各分野において第一線で活躍している方々の一流の芸術を鑑賞したり、様々な体験を行ったりする活動を通して、子どもの感性、創造力の育成を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一流の音楽や芸術に触れる鑑賞会の開催 ・自由研究コンテストの実施 ・小学校4年生の宿泊体験活動の実施(宿泊施設:ワクアス) ・小学校6年生の交流会(美郷キッズわくわく交流会)の実施 ・学校交流音楽祭の開催 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞「ドリーム体験!ほんもの講座」:小中学校全児童生徒 ・自由研究コンテスト:小学校全児童生徒、中学校総合科学部およびインターアクト部 ・宿泊体験活動:3小学校4年生 ・美郷キッズわくわく交流会:3小学校6年生 ・学校交流音楽祭:小・中学校の金管バンド部・吹奏楽部 				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	5,489	3,460	4,122	3,677	2,765
評価年度目標 (目指すべき姿)	第一線で活躍している本物のパフォーマンスに触れたり、興味や関心をもったものに熱中して取り組んだり、研究を深めたりすることにより、子どもたちの感性を育み、視野を広げる。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんもの講座:小学校1～3学年「わらび座わくわく美郷ライブ」大変よかった87.2%、よかった12.2% 小学校4～6年・中学校1～3年「わらび座観劇」大変よかった89.2%、よかった10.5% ・自由研究コンテスト:出品数213点(最優秀賞・優秀賞16点) ・宿泊体験活動:初めて家族と離れて宿泊61.9%、宿泊が楽しかった86.6%(複数回答) ・美郷キッズ交流会:他の学校の人と進んでふれあえた98.2%、協力して活動できた99.1% ・学校交流音楽祭:参加児童生徒数88名、来場者数233名 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	令和4年度はすべての事業を中止することなく実施することができた。実施後のアンケート結果からも事業の目的を達成することができたと捉えている。本事業は、どれも子どもたちの感動や発見を生む貴重な内容であり、コロナ禍においても実施方法や内容等を工夫し、実施していきたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	ふるさと教育・キャリア教育推進事業 (ふるさと学習教材編集事業から改称)		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2414)	
事業の目的	将来の美郷を町の内外から担っていきこうとするたくましい児童生徒の育成を目指して、美郷町の特色ある自然、歴史、文化、産業、観光、スポーツ、行政、教育などを記載した教材としての本を編集・出版する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5、6年生を対象に、キャリアスクール(職場体験活動)を実施 ・小中学校において地域の人材や産業を学ぶ美郷ふるさと活動を実施 ・学習教材編集に係る校了及び校正作業の実施 				
事業の対象	小学校5・6年生及び中学生				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	3,392	2,828	3,832	643	485
評価年度目標 (目指すべき姿)	町の教育資源を本にまとめて教材化を図り、これを活用しながら学習を展開することで、子どもたちの認識や視野を広げる。また、それを基盤として自らの進路や生き方を考える「ふるさと教育・キャリア教育」を推進する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5、6年生を対象に、キャリアスクール(職場体験活動)は新型コロナウイルス拡大により実施直前に中止となった。 ・小中学校において美郷ふるさと活動を実施した。 ・美郷町ふるさと学習教材「ふるさと美郷は宝箱」編集に係る校了及び校正作業を実施した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	国際教育推進事業 (外国語教育充実事業から改称)		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	新学習指導要領に対応した児童生徒への外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。				
事業の内容	ALT(外国語指導助手)3人を小中学校に、英語専科教員1人を小学校に配置				
事業の対象	町内小・中学校児童生徒				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	15,840	13,885	17,160	16,682	17,159
評価年度目標 (目指すべき姿)	小中学校にALT、小学校に外国語専科教員を配置し、外国語教育の推進と充実を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ3名のALTを配置 ・小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語、中学校の英語の授業でTT(チームティーチング)を実施 ・英語専科教員や担任とのTTを実施 ・令和4年県学習状況調査より「外国語活動・外国語の勉強は好きだ」(県平均との比較) 小4:90.6%(+10.3) 小5:76.5%(-0.8) 小6:84.8%(+8.3) 中1:60.9%(-9.5) 中2:70.9%(+6.0) ※参考:前年度数値 小4:73.8%(-5.5) 小5:75.2%(-2.3) 小6:60.7%(-17.9) 中1:71.3%(-1.3) 中2:66.5%(-3.2) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input type="checkbox"/> 達成できている				
	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	ALTの配置により、各学校の外国語教育のねらいと指導計画に対応した授業を行うことができた。小学校では英語専科教員との連携も深まり、県学習状況調査では、「外国語が好き」と答えた児童生徒が県平均を上回る傾向が見られるようになり、楽しく分かりやすい授業づくりの成果が表れてきていると捉えている。今後もより一層、教員とALTとの効果的なチームティーチングの充実を図っていく。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	県学習状況調査の県平均と比較して低い数値の学年もあるため、内部評価ではBとなっているが、前年度比では多くの学年が改善傾向にあることから、外部評価はAとする。		

事業評価シート

事務事業名	ICT活用教育推進事業		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想によるタブレット端末を活用して、学習活動の一層の充実を図る。 ・ICT支援員を配置し、学校におけるICT機器が教育活動においてスムーズで効果的に活用されるようサポートする。 ・学習者用デジタル教科書実証事業を活用して児童生徒の学びの充実を図る。 				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末や電子黒板等を活用した効果的な教育実践を研究し、活用事例集を作成する。 ・ICT支援員による児童生徒や教師のICT機器活用状況の把握と支援を行う。 ・学習用デジタル教科書を活用し、学習内容の定着を図ったり、興味関心を高めたりすることの実現を図る。 				
事業の対象	児童生徒				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	5,726	5,666	4,038	6,601	32,654
評価年度目標 (目指すべき姿)	児童生徒がタブレット端末や電子黒板を用い、デジタル教科書等のデジタルコンテンツを学びに取り入れることで、より一層の学習内容の定着を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度美郷町小・中学校ICT機器活用事例集を作成した。 ・学校におけるICT機器の利活用が図られるよう、ICT支援員を1名配置した。 ・学習者用デジタル教科書を配備した。 ・全国学力・学習状況調査質問紙から(令和4年度結果) 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」 【小学校6年生:美郷町99.2%、県96.7% 中学校3年生:美郷町96.0%、県95.3%】 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分にできている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	タブレット端末の整備完了から2年目を迎え、教職員のICT活用の意識も高まり、活用の機会の充実が図られている。また、ICT支援員が町内小・中学校を巡回することにより、ICT機器の利活用が促進された。今後のICT機器のより一層の利活用促進に向けて、電子黒板等の機器整備の充実や教職員のICT研修への支援を継続していく。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	大学生等応援事業 (県外大学生等応援事業から改称)		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	暮らしの安全安心の確保		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2414)	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活が制限され、町外の学校に在籍する学生には帰省を自粛していただくなど、親元を離れて不安を感じながら過ごしていることから、美郷町の特産品をお届けし、少しでも学生の皆さんの気持ちが和み、これからの学生生活が快適で有意義なものになることを願い実施する。				
事業の内容	遠方でがんばる学生へ美郷町の特産品をお届けし、ふるさと美郷から元気を与える。				
事業の対象	美郷町出身で町外に住所のある学生で、高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	-	338	2,400	839	-
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町外に住所を有する学生で、高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方に対し、美郷町の特産品を贈呈する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 町広報紙やホームページ、Facebookでの周知を図り、申請受付を窓口や郵送によるもの、他、メールでの受付を行なって、学生等が気づきやすかつ申込みしやすいようにした。 美郷町特産品 贈呈者数 (高校生:3人、大学生等:120人) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> 町外に住む美郷町出身の学生に対し、美郷町の特産品を届けることで、ふるさと美郷から元気を与えることができ、改めて美郷の良さに気付いてもらうきっかけとなった。 申請書の提出があり、該当となった学生全員に特産品を贈ることができた。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する ※新型コロナウイルスの5類移行に伴い、令和4年度で終了。				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	奨学金返還助成事業(新規)		担当課名	教育推進課	
	総合計画の 施策名	豊かに暮らす定住・移住の現実		担当班名	教育総務・指導班
電話番号(内線)				0187-84-4914(2405)	
事業の目的	美郷町に住所を有し居住する就労者のうち、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学または大学の在学中に貸し付けを受けた高校・大学生等奨学金を返還する者に対し、返還金の一部を助成することにより、人材の確保と定住促進を図る。				
事業の内容	令和3年度に助成対象者となる認定を受けた者に対して、助成対象期間中に返還した金額に3分の1を乗じて得た額を助成(上限額64,000円、最長5年間助成)				
事業の対象	美郷町に住所を有し居住する就労者のうち、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学または大学の在学中に貸し付けを受けた高校・大学生等奨学金を返還する者				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	-	-	256	164	533
評価年度目標 (目指すべき姿)	町内全域への事業周知による助成対象者への申請促進と、認定を受けた者に対し返還金を助成することにより、人材の確保と定住促進を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙やホームページ等で周知を図ったほか、周知用チラシを作成し中学校卒業生等に配布した。 ・令和4年度支給者数 3名 ・令和4年度助成対象認定者数 5名 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業であることから、令和3年度から継続して町内在住者に対する事業周知を図った。 ・認定となった対象者に対し、滞りなく助成金を支給することができた。 ・今後も事業の周知及び助成を継続していくことで、人材の確保と定住促進を図りたい。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	タイ王国との中学生交流事業 (ホストタウン推進事業(中学生交流事業)から改称)		担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	つながりが生まれる交流の創出		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	タイ王国の言語・風習・文化等にふれながら異文化理解を深め、同年代の中学生と交流することにより、コミュニケーション力や国際感覚を身に付ける。				
事業の内容	美郷町と教育交流協定を締結しているタイ王国ノンタブリー県の中学生と、ホームステイ等を体験し、生きた英語にふれながら、生活様式、習慣等を学ぶ。併せて、タイ王国の自然、文化、歴史、産業等を学ぶ。				
事業の対象	中学校1～3年生				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	3,814	13	4,129	864	6,695
評価年度目標 (目指すべき姿)	異文化にふれ、視野を広げるとともに、他国の中学生と積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする積極性や態度を育成する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により相互訪問交流は中止となった。 令和5年度以降の相互交流訪問の実施に向け、ノンタブリー県第一初等教育局と、教育交流を3年間延長するための教育協定を再締結した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
内部評価	B		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	令和4年度の相互訪問交流は中止になったが、令和5年度からの交流に向けて、ノンタブリー県第一初等教育局と教育協定を再締結した。ノンタブリー県第一初等教育局と連携し、相互交流訪問の再開に向けて準備を進めていく。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	家庭教育事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	心身ともに健やかな子どもを育てるために、家庭教育に関する学習機会を提供する。				
事業の内容	① 就学時健診子育て講座 (南教育事務所 湯野澤兄一氏 小笠原重夫氏 「家族を笑顔にする10のヒント」「子どもの伸ばし方ー「やる気」を引き出すコツー」) ② 親力アップ講演会 (大森山動物園長 小松 守氏 「動物の子育てに学ぶ」) ③ 幼児期家庭教育講座 (かずみ音楽教室 佐藤香純氏「親子deリズム」、小松かおり氏、佐々木恵理子氏、 堀川紀子氏「親子で楽しくリズム」)				
事業の対象	① 就学時健診対象児の保護者 ② 小中学校PTA会員、認定こども園保護者会員 ③ 各こども園園児、保護者				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	514	75	514	149	328
評価年度目標 (目指すべき姿)	家庭や地域全体で子育てや教育を応援し支えていくための学習機会を提供する。 講座満足度80%以上				
実績・成果等 (数値)	① 満足度 92.7%、受講者数 88人(千畑 32人、六郷 21人、仙南 35人) ② 満足度 84.9%、受講者数 145人(仙南小学校会場145人、千畑小学校中止) ③ 満足度 98.8%、受講者数 191人(六郷わくわく園60人、仙南すこやか園68人、千畑なかよし園63人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	①講演を聞きながら、保護者同士が話せるグループトークを県の協力により実施した。 ②授業参観と学年懇談の間に講演会を実施したため、多くの方々から受講していただくことができた。 講座の満足度も高く、事業の継続を求める声も多いため、その期待に引き続き応えていく。 ③親子で体を動かす、触れ合う時間ができて楽しかったとの感想が多かった。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業	担当課名	生涯学習課		
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	担当班名	社会教育班		
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)		
事業の目的	子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、様々な体験活動や学習の場を提供する。				
事業の内容	① わくわくスクール ② コズミックカレッジ(JAXAプログラム) ③ 子どもコミュニケーション教室(新規) ④ 地域学校協働本部事業の実施				
事業の対象	①、② 参加を希望する小学生(回によっては保護者参加可能) ③、④ 町内小中学校				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	641	539	2,323	1,320	1,993
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもたちが意欲的に参加し、学年や男女問わず楽しく学習できるプログラムを提供する。 ①、②、③満足度80%以上 ④ 対前年比 +5%				
実績・成果等 (数値)	① サマースクール(1回) 満足度100%、参加者数20人 ※コロナ感染拡大のため冬に実施。 ウインタースクール(1回) 満足度100%、参加者数16人 ② 満足度96.0%、参加者数27人 ③ 4回(六郷小6年生、千畑小3年生、仙南小5・6年生)満足度94.4%、参加者数153人 ④ 学校協働活動ボランティア 対前年比114%(延べ 協力回数174回、協力者数246人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	①わくわくスクールは、参加者アンケートの満足度が非常に高く、青少年教育事業として定着し、保護者同士の交流の場にもなっている。 ②コズミックカレッジは、講師の指導により、宇宙に関する学習のほか、親子でのペットボトルロケット製作の体験活動を実施できた。 ③子どもコミュニケーション教室は、普段関わりの少ない人との関わりや、相手の気持ちを学ぶ機会を得るなど、目的を理解している児童が多く、満足度が高かった。 ④地域学校協働本部事業は、学校からの要請により、昨年度より協力回数、人員とも大幅に増えた。地域と学校の結び付きを深める事業でもあるので、みさぼーととの調整に努めて事業を充実させていきたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	成人教育事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	町民の余暇活動の充実を図り、いきいきと活力にあふれる地域社会を創るための学習講座を開催する。また、二十歳を機会に自らの成長過程を振り返りながら、成人としての自覚と誇りを喚起し、社会参加意識の高揚を図る。				
事業の内容	生涯学習講座の開催 ①【新】スマートフォン・SNS講座(TOMO氏) ②【新】おとなのペン字講座(福島樹理氏) ③ハンドメイド講座(土田千佳子氏) ④ハンドドリップコーヒー講座(木元和人氏、山田竜平氏) ・二十歳の集いの開催(式典、記念講演、記念映像の放映、記念撮影)				
事業の対象	・生涯学習講座－受講を希望する方 ・二十歳の集い－平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれで美郷町在住の方 (美郷中学校卒業生の転出者含む)				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	395	373	1,135	844	1,176
評価年度目標 (目指すべき姿)	・生涯学習講座講座 継続の講座に加え、新規講座で学びの機会を増やすことで余暇活動の一層の充実を図る。また、生涯学習講座の自主サークル化を図る。 目標値 生涯学習講座の満足度80%以上、自主サークル化 50%以上 ・二十歳の集い 実行委員会を発足し、企画運営に参画してもらうとともに、参加率を高める。 目標値 参加率80%以上				
実績・成果等 (数値)	・生涯学習講座 ① 満足度 100%、受講者数 13人 ② 満足度 78.9%、受講者数 22人 ③ 満足度 100%、受講者数 11人 ④ 満足度 100%、受講者数 19人 自主サークル化 50% (対象講座：詩吟入門講座) ・二十歳の集い 参加率 69.6% (対象者168名中117名参加)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	

内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	<p>生涯学習講座については、いずれの講座も、回を重ねるごとに、講師と受講生、受講生同士が打ち解け、よりよい講座になるよう協力し合う姿が見られた。詩吟入門講座は、令和4年度より自主サークルとして活動することとなった。今後も講座の開設にあたっては、住民のニーズ等をとらえ取り組むことが必要と考える。</p> <p>二十歳の集いについては、コロナ禍もあり参加率は目標値に至らなかったが、感染対策を講じ集合形式で行うことができ、式典・記念講演等を通じて成人としての自覚や意識を高めることができた。</p>		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	<p>コロナ禍であることから、二十歳の集いの参加率が目標値の80%に届いておらず、目標達成度の面から内部評価はBとなっているが、事業の目的・内容等から鑑みて、本事業の有効性は「十分寄与する」として差し支えないため、外部評価はAとする。</p>

事業評価シート

事務事業名	高齢者教育事業	担当課名	生涯学習課		
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	担当班名	社会教育班		
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)		
事業の目的	心身ともに元気で生きがいをもって暮らせるよう、楽しく仲間づくりができる学習や交流の場を提供する。				
事業の内容	美郷いきいき大学の開催(年6回) ①「詐欺被害防止について」(美郷交番所長) ②「折り紙でしおりを作ろう!」「うたと手遊びで楽しもう!」(生涯学習奨励員) ③「大川清一 北東北山々の輝き」(学友館学芸員) ④「秋田米新品種サキホコレについて」(平鹿地域振興局) 「座ってできる運動で体をほぐそう!」(健康運動指導士) ⑤「心を今に集中して幸福感を高めよう」(由利エンターテインメント代表由利栄美氏) 朗読劇「助け合い 家族の笑顔 サキホコレ」(美郷町男女共同参画住民懇話会) ⑥「バルーンアートを体験してみよう!」(ふうせんやSHIBU氏)				
事業の対象	60歳以上の町民で受講を希望する方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	408	54	408	62	408
評価年度目標 (目指すべき姿)	高齢者が生きがいを持って継続して受講できるように、参加型の講演会や町外研修、創作活動等、魅力のあるプログラムを提供する。 目標値 参加者数対前年度+5%、満足度80%以上				
実績・成果等 (数値)	① 満足度 82%、受講者数 72人 ② 満足度 76%、受講者数 71人 ③ 満足度 75%、受講者数 57人 ④ 満足度 87%、受講者数 80人 ⑤ 満足度 73%、受講者数 61人 ⑥ 満足度 92%、受講者数 69人 満足度平均80.8%、受講者数延べ410人				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	3年ぶりの通常通りの開催となった。参加を見合わせる高齢者もいたが、感染症予防に細心の注意を払い、事業を実施した。新型コロナウイルス感染拡大のため、家にいる時間が多くなる中、体を動かさず軽運動の講座では満足度が高かった。今後も、アンケート調査の分析などを行い、魅力的なプログラムの提供を図っていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	芸術文化推進事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班/歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)/0187-84-4040 (3403)	
事業の目的	住民の豊かな心を養い、芸術・文化に触れる機会を創出する。				
事業の内容	優れた芸術・文化に触れる機会を提供し、個々の個性と想像力を育む。 (1)音楽コンサート(自衛隊音楽隊、ジャズコンサート) (2)学友館特別展				
事業の対象	町内外の観覧を希望する方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	16,428	14,555	9,010	8,236	9,073
評価年度目標 (目指すべき姿)	住民が芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな心を養う。 (1)満足度80%以上 (2)入館者数各展800人以上(2,400人以上)、満足度80%以上				
実績・成果等 (数値)	(1)音楽コンサート 於:美郷町公民館 ①美郷ジャズと仲間たちのスペシャルコンサート (10月22日、美郷フェスタ内、入場者約300人) ②海上自衛隊舞鶴音楽隊コンサート (11月13日、入場者数400人、満足度98.96%) (2)学友館特別展 於:美郷町学友館 ①大川清一「秋田魁新報連載 北東北～山々の輝き～」展 (7月30日～9月25日、入館者数3,344人、満足度99.88%) (関連行事として大川氏による写真教室開催、20人参加) ②ふるさと美郷の画家三人展 一渋谷重弘・高橋清見・藤井勉一 (10月29日～11月27日、入館者数1,011人、満足度97.44%) (関連行事として藤井隆太氏らフルート演奏によるギャラリーコンサート、 藤井由紀子氏によるギャラリートーク開催) ③秋田県美術展覧会第20回仙北地域展 (令和5年1月21日～2月19日、入館者数751人、満足度100.00%) (新たな試みとして作者による作品解説を付けた)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	(1)感染症対策をしつつ、入場制限を設けずに実施したが、満員御礼かつ高い満足度であった。 (2)来館者の満足度向上を図るために実施した関連行事や作品解説は、好評をいただき、満足度は直近3年間の平均95.79%から99.10%と約3ポイント高めることができた。この取組は、今後も継続していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	芸術文化交流促進事業(新規)		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	友好都市交流自治体の人や作品などの交流を通して町芸術文化活動の活性化を図り、地域住民の芸術文化理解、及び相互交流を深めることを目的とする。				
事業の内容	友好都市における生涯学習団体、各種サークル間の活動紹介や情報発信、作品の交換展示。				
事業の対象	交流を通じて活動強化を図りたい町内サークル・団体の会員等				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	-	-	329	77	478
評価年度目標 (目指すべき姿)	芸術文化団体・自主学习サークル等の活動紹介や情報発信、他自治体との交流を促進する。 目標値: 作品の交換展示、人的交流の実施				
実績・成果等 (数値)	事業実現性の可否も含め、大田区地域力推進課との打ち合わせを1回実施した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	C		成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い		
判定説明 及び考察	大田区生涯学習団体との交流については、打合せの結果調整が難しいと判断し、事業見直しが必要である。そのため、生涯学習作品の交換交流展示などの検討を進めていく。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input checked="" type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	—		評価委員意見	令和4年度時点では、大田区との交渉段階であり、事業として交流を行うまでに至っていない。現段階で評価を行うことは、正確性に欠けるため、評価なしとする。	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	芸術文化団体支援事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	芸術文化団体の活動を支援する。				
事業の内容	美郷町芸術文化協会やかけ唄保存会などの芸術文化団体の事業に対して補助を行う。				
事業の対象	芸術文化団体				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	672	260	372	343	372
評価年度目標 (目指すべき姿)	団体の事業に対して補助金を交付することで、団体の活動が活発化する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町芸術文化協会補助金 271,000円 補助金を活用し、芸術文化賞の選考・授与、会報の発行・配布、会員研修などを実施した。 かけ唄保存会補助金 72,000円 補助金を活用し、熊野神社で全県かけ唄大会が開催された。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<p>町芸術文化協会への助成を通して加入団体の活動が活発化し、会員相互の交流が図られた。また、会報「芸文協だより」の発行や芸術文化賞の選考・授与等により、町民の芸術文化への関心や活動意欲も高まった。</p> <p>かけ唄保存会については、全県かけ唄大会を開催し、伝統芸能の保存につながっている。</p> <p>今後も、芸術文化団体のさらなる活性化のため、支援を継続していく。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	学習成果発表事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	学習成果を発表する機会を提供することで、会員の学習意欲向上を図る。				
事業の内容	美郷フェスタ文化展				
事業の対象	町の生涯学習講座受講者、サークルや団体の会員等で出品を希望する方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	47	-	47	7	47
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯学習講座の受講生やサークル・団体の会員等で出品を希望する方にも美郷フェスタへの出展を促し、学習意欲を喚起する。 目標値 美郷フェスタ文化展出展者数 250人以上				
実績・成果等 (数値)	美郷フェスタ文化展(令和4年度出展者数 159人、446点)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	2年ぶりに開催した美郷フェスタ文化展は、令和元年度と比べると、新型コロナウイルス感染の影響等から出展者、出品数共に3割減、4割減となった。本展は、美郷フェスタ主要イベントの一つであり、町民の学びの機会を発表する場であり、アフターコロナへの転換を見据え、事業を推進していく。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	美郷カレッジ開催事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	社会教育班	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	美郷町内外の方が、創造的で充実した人生を送り、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加していただくための学習機会を提供する。				
事業の内容	美郷カレッジの開催(7月2日から10月29日まで 計4講座)				
事業の対象	町内外で受講を希望する方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	909	597	909	569	1,060
評価年度目標 (目指すべき姿)	地域づくりや地域文化創造に寄与する人づくりのため、魅力ある学習機会を提供する。 目標値 講座満足度80%以上、受講者数240人以上				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・「JALの心をひとつにする仕事」清水新一郎氏 (7月2日開催、受講者86人、満足度97%) ・「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」益子直美氏 (8月20日開催、受講者103人、満足度94.6%) ・「布のはなし(布のこころ)布をつくる、つかう、まとう、そして考える」須藤玲子氏 (9月24日開催、受講者87人、満足度93.2%) ・「自然を通して美を学ぶ」渋谷重弘氏 (10月29日開催、受講者数66人、満足度96.1%) 満足度平均 95.2%、受講者数342人				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	「意(い・こころ)」を共通テーマとして4講座を開催した。身近な分野から専門的事項まで、各界の第一線で活躍する幅広い講師陣を招聘することにより、受講者の知的好奇心が掻き立てられていることがアンケートやリピーターが多いことから読み取れる。 また、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮し、リモート会場(中央ふれあい館、北ふれあい館)を設置した。全体の満足度、継続受講希望者も95%を超えていることから、若い世代など新たな受講者の呼び込みにつなげたい。事業への期待は非常に高いものと考えられる。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	伝統行事等伝承事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	伝統行事を地域で継承することで、地域活動の活性化を図る。				
事業の内容	(1) 六郷の七夕まつり(舟ッコ流し)の開催 (2) 六郷のカマクラ行事継承会への補助				
事業の対象	(1) 六郷地区各町内会(子ども会) (2) 六郷のカマクラ行事継承会				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,615	421	1,628	1,643	1,956
評価年度目標 (目指すべき姿)	郷土の誇りである伝統行事が地域で継承され、その活動を通じて地域活動が活性化する。				
実績・成果等 (数値)	(1) 8月6日から7日にかけて六郷町内及び御伊勢堂川で開催した。感染症対策のため行事内容を一部縮小し、川入りについては六郷地区18町内中8町内の子ども会から子ども大人約100人が参加した。3年ぶりの開催で、実施方法に悩む町内があったことから、行事の内容をビデオ撮影し、18町内子ども会に配布した。 (2) 12月23日にカマクラ行事を保存する団体「六郷のカマクラ行事継承会」が発足し、2月11日から15日かけて六郷町内でカマクラ行事が開催された。町は、実施にかかる費用の一部として団体に補助金(88万円)を交付した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	(1) 少子化の影響で行事に参加できない(実施できない)町内子ども会が増え、伝統行事の継続が難しくなっている。運営主体含め、行事のあり方を検討していく必要がある。 (2) 町民が主体となって行事を運営する組織が立ちあがり、一連の行事を実施することができた。未永く行事が実施され、伝承されるよう、町も支援していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	後三年合戦関連事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	平泉の世界遺産登録を契機として、後三年合戦の啓発を行い、地域の歴史研究の進展を図る。				
事業の内容	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会への支援				
事業の対象	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	40	6	40	40	40
評価年度目標 (目指すべき姿)	後三年合戦を学ぶことにより、郷土の歴史の理解と郷土愛の醸成を図る。				
実績・成果等 (数値)	事業費の一部として、団体に補助金(4万円)を交付した。 (事業等実施状況) 令和4年度末 会員数44人(前年度より▲12人) 6月11日 総会及び講演会(参加者数 27人) 9月14日 平泉中尊寺等県外視察研修(参加者数 22人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	実行委員会が主体となって事業を実施しており、地域の方々が自ら郷土の歴史を学んでいる。後三年合戦関連遺跡や施設を見学したことで、後三年合戦に対する理解や興味が深まった。郷土愛の醸成につながっており、引き続き支援が必要である。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	わら細工文化事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	地域の伝統文化である「わら細工」の保存と伝承を図る。				
事業の内容	わらの文化交流事業の開催				
事業の対象	町内外の参加を希望する方				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	827	0(中止)	811	549	784
評価年度目標 (目指すべき姿)	失われつつあるわら文化の保存と継承を目的に「わらの文化交流事業」を開催し、多くの方にわら文化の大切さを再認識してもらう。				
実績・成果等 (数値)	3月4日に屋内スポーツ館において、第5回「わらの文化」交流の集いを開催し、町内外から89人の参加があり、高校生や大学生の参加もみられた。千葉大学名誉教授宮崎清氏によるわら文化に関する基調講演や、生活工芸に取り組んでいる福島県三島町長矢澤源成氏による事例発表のほか、美郷わらの会によるわら細工づくり体験では、わらを使ったタワシ作りなどを実施した。 参加者アンケートによる満足度は100.0%であった。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課		
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	担当班名	歴史文化財班		
		電話番号(内線)	0187-84-4040(3405)		
事業の目的	乳児と保護者が絵本を介してふれあうきっかけを作り、行政や地域が支えながら健やかに子育てできる環境を提供する。				
事業の内容	美郷町内に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児および保護者に絵本を手渡し、家庭での読みきかせや絵本遊びを推進する。				
事業の対象	美郷町に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児とその保護者				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	469	295	424	265	404
評価年度目標 (目指すべき姿)	7ヵ月児、10ヵ月児とその保護者に絵本を贈ることで、親子で本に親しむことをきっかけとして、触れ合い、語り合うことで、親子のきずなを一層深める。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行われる乳幼児健診の際に贈呈した。 7ヵ月児75人(ブックスタートパック)、10ヵ月児73人(選択絵本2冊) ・民生委員、読み聞かせボランティアと共同で行い、町の子育て支援に関する情報提供も行った。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている				
	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	保護者と個別に対話しながら絵本を贈呈し、ブックスタートの意義を理解していただいた。受け取ったその場で絵本遊びを始めるなど保護者からも好評を得ており、絵本をきっかけとした親子のふれあい創出や読書推進に寄与している。また、保護者同士がつながる場にもなっており、子育て支援の一助となるよう、関係者の協力を得ながら事業を継続していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	美郷オリジナル絵本作成事業(新規)		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	郷土愛の醸成と情操教育を目的に、オリジナル絵本を作成する。				
事業の内容	美郷町を舞台にした絵本の作成(令和5年度刊行)				
事業の対象	町内在住の3~7歳児				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	—	—	1,821	1,201	3,340
評価年度目標 (目指すべき姿)	オリジナル絵本の挿絵作成				
実績・成果等 (数値)	令和3年度に完成したストーリーを基に、絵本作家で美郷大使の永田萌氏に挿絵の作成を委託した。 10月下旬に永田氏が来町され、町内取材やストーリー編成委員と意見交換した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	読書・視聴覚環境向上事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3405)	
事業の目的	活字離れや読書離れが問題となっていることから、読書への興味を喚起し、「読む・考える・表現する」ための習慣づけの一助とする。				
事業の内容	(1) 読書・図書館に関連したイベント等の開催 (2) 図書館内に視聴覚ブースの設置				
事業の対象	(1) 参加を希望する方 (2) 図書館利用者				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,730	680	2,951	3,017	734
評価年度目標 (目指すべき姿)	(1) 美郷町読書フェスタ等関連事業を実施し、幅広い層に読書への関心を喚起するとともに本に親しんでもらう。 (2) 視聴覚ブースの設置				
実績・成果等 (数値)	(1) 関連事業の実施 ・7月31日 手づくりしかけ絵本教室(参加者21人、満足度95.2%) ・10月2日 美郷町読書フェスタ(参加者数延べ215人、満足度100.0%) ・10月4～10日 「心に残った本」紹介コンクール(応募数968点) (2) 視聴覚ブース設置 ・3基設置、11月3日より供用開始 ・旧町村PR映像や映画、クラシック音楽など159点を視聴可能。 ・令和4年度末利用者数 合計18人				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	(1) 町民同士の交流もでき、本に親しみを持ってもらうことができた。今後も読書習慣につながる事業の開催と、魅力ある図書館の環境整備を行う必要がある。 (2) 利用者増加のためのPRと、視聴覚できる映像資料等の充実を図っていく必要がある。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	町内の史跡等重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、郷土の歴史や文化について学ぶ場所を提供する。				
事業の内容	町内の史跡等の維持管理、文化財等保存修復処理、文化財保護に関する啓発。				
事業の対象	指定文化財、収蔵施設				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,310	4,329	4,123	5,542	3,886
評価年度目標 (目指すべき姿)	町指定文化財の管理や歴史資料の修復等を行い、町の歴史について学習できる環境を整備する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等保存修復処理 秋田県指定有形文化財 慶長十九年本堂城廻村絵図1点(表装替え等) 町指定文化財の施設設備管理 施設維持、本堂城跡管理、草刈り、千屋断層ロードマップ標柱更新等 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> 町収蔵資料の適正管理により、展示公開をとおして次世代に伝えていくことができるようになった。今後も収蔵資料の修復等を計画的に進めていく必要がある。 史跡等を適正に管理したことにより良好な学習環境が保たれ、郷土の歴史や文化に対する理解、文化財保護意識が醸成されている。今後も文化財や史跡等を適正に管理していく必要がある。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	埋蔵文化財調査事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	町内に所在する遺跡を良好な状態で後世に残し、発掘調査によって得られた遺跡情報や出土した遺物を町民の学習の場に活用する。				
事業の内容	ほ場整備事業実施に伴う遺跡の調査				
事業の対象	明田地野際、(仮称)六郷西部2区				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	7,328	6,502	1,688	1,605	2,606
評価年度目標 (目指すべき姿)	圃場整備事業実施に伴う遺跡の調査実施(2地区)				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・2地区とも11月に調査を実施した。 ・明田地野際は、試掘の結果、遺構や遺物は発見されなかった。 ・(仮称)六郷西部2区は、試掘の結果、六郷城跡に接していることから、建物の柱痕や柱穴とおもわれる遺構を検出した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	文化財保護法に基づき実施しており、引き続き、適切に調査する必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	民俗文化財継承活動推進事業(新規)		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	歴史文化財班	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	町内の指定民俗文化財となっている「六郷のカマクラ」(国指定)及び「わら細工及び製作道具」(県・町指定)に関連するわら文化の記録映像を作成し、伝統文化の安定した継承を図る。				
事業の内容	「六郷のカマクラ」及び「わら文化(わら細工・ショウキ様)」の歴史や活動、準備や祭りなど、作法含め記録映像を制作する。(1作品10分程度、令和7年度完成予定)				
事業の対象	町民、六郷のカマクラ行事継承会、美郷わらの会、本堂城跡管理組合				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	—	—	930	847	941
評価年度目標 (目指すべき姿)	「六郷のカマクラ行事」及び「わら文化」の行事や伝承活動を取材し、映像撮影する。				
実績・成果等 (数値)	「カマクラ行事」について、新組織の立ち上げや打合せ会、町内の準備(鳥追い小屋づくり、天筆書きなど)、行事(天筆掲揚、松ニオ、竹うちなど)を取材し、映像撮影した。「わら文化」について、6月に本堂城跡のショウキ様作り替えや美郷わらの会の活動を取材し、映像撮影した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	人口減少や少子高齢化、地域のつながりの希薄化、祭りへの参加者減少等により、映像記録の重要性は、ますます高まっている。映像の完成に向けて引き続き取組む必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

令和4年度

事業評価シート

事務事業名	少年スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課		
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	担当班名	スポーツ振興班		
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)		
事業の目的	スポーツ少年団の活動を通して、団員の健全育成と単位団の育成を図る。また、駅伝大会を通して、中学生の健全な精神と体力の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の運営、20単位団への育成費の助成 ・県大会以上の出場チーム等に対し派遣費の助成 ・中学校新人駅伝競走大会の開催 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団及び団員 ・美郷中学校生徒 				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	2,461	2,112	2,825	2,095	2,763
評価年度目標 (目指すべき姿)	スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツを楽しみながら多様な価値観を認め合う機会を与え、青少年の健全育成を推進する。また、中学生の心身の健やかな成長を期し、駅伝大会を開催する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団 20団体 350人が団員登録 ・選手派遣費補助 9団体 14大会へ補助 ・10月25日に男子14校、女子12校(各校1チーム)が参加し、「第18回美郷町中学校新人駅伝競走大会並びに第15回美郷町中学校新人女子駅伝競走大会」を開催。女子は美郷中学校が優勝。男子は第3位。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	スポーツ少年団の活動は保護者の協力体制の充実により活発に行われ、活躍も目覚しく各種大会で好成績を収めており、子どもたちの心身の向上や社会性を育む一助となっていると考えられる。駅伝大会も「走る美郷」の基礎となる事業である。今後も、スポーツを楽しむという概念をもって引き続き青少年の健全育成を推進していく必要があると考える。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	スポーツ活動支援事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	スポーツ振興班	
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	スポーツに関する情報や機会を提供し、継続的な生涯スポーツの推進を図る。また、各種スポーツ大会を通して交流機会を創出し、コミュニティの醸成と運動意識の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室、ウォーキング教室、水泳教室、スキー教室の開催 ・各種町民スポーツ大会、ニュースポーツ大会、チャレンジデーの開催 ・町スポーツ協会の運営、育成費の助成 				
事業の対象	町民及び町スポーツ協会並びに加盟スポーツ団体				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,513	3,615	4,126	4,214	3,991
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯スポーツ振興のためにスポーツ協会の運営を支援し、加盟スポーツ団体の組織力強化に努める。また、スポーツ協会及び加盟団体によるスポーツ教室や各種大会の開催を促進し、町民の健康増進を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ賞の授与とスポーツ協会を通して、18の加盟団体に育成費の助成を行った。 ・13競技の町民スポーツ大会を開催し、1,531名が参加した。 ・屋外15回(267人)、屋内23回(321人)のウォーキング教室を開催した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	町スポーツ賞は、町民がスポーツに励む一つのきっかけともなるため、継続する必要がある。スポーツ協会加盟団体は、会員の高齢化傾向も見受けられるが、多くの町民がスポーツに参加できる環境づくりに努めており、今後も町スポーツ協会に支援することにより、生涯スポーツの浸透を図っていく必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	連携企業スポーツ活動推進事業 (企業連携事業から改称)		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		担当班名	スポーツ振興班	
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	ヨネックスと連携し、スポーツ教室による競技力の向上と生涯スポーツへの取組を推進する。また、モンベルと連携し、登山教室による美郷中学生への情操教育に寄与する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 一流のアスリートによるスポーツ教室の開催 美郷中学生への登山教室の開催 				
事業の対象	町民				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	570	498	1,103	655	1,368
評価年度目標 (目指すべき姿)	個々の体力やライフスタイルなどに応じてスポーツに取り組む習慣を身につけるため、様々なスポーツ種目に親しめる機会を創出する。				
実績・成果等 (数値)	<p>【ヨネックス連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月10日にオリンピックに出場した池田信太郎氏、嘉村健士氏、北都銀行バドミントン部の松本麻佑氏、永原和可那氏を講師に迎え、美郷町総合体育館を会場にバドミントン教室を開催。美郷中学校の男女バドミントン部16人、美郷町バドミントンスポーツ少年団員42人合わせて町民等107人が参加。 10月30日に同社社員でソフトテニスの国内大会で活躍している貝瀬ほのか氏を講師に迎え、美郷中学校テニスコートを会場にソフトテニス教室を開催。美郷中学校の男女ソフトテニス部31人合わせて町民等37人が参加。 <p>【モンベル連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> モンベルと美郷山岳会の協力を得て、美郷中学生を対象とした登山教室を開催。9月27日は美郷中学校において、登山の基礎知識や必要な道具など本番に向けた座学を実施。10月14日、登山教室本番は天候にも恵まれ、生徒4人、保護者1人、スタッフ7人で真昼岳赤倉登山口から山頂までの登山を実施。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	スポーツ教室では一流アスリートの直接指導により競技者の技術習得や士気の高揚につながった。登山教室では初めて登山する参加者が多かったが、きつい中耐え、互いに協力して登ったことで、達成感や充実感を味わい、登山の魅力を伝えることができた。今後も連携企業の協力を得て、スポーツの魅力発信と競技力向上を図る機会を創出していく必要がある。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	国際文化スポーツ交流促進事業 (ホストタウン推進事業(交流キャンプ事業)から改称)		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	つながりが生まれる交流の創出		担当班名	スポーツ振興班	
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	タイバドミントンナショナルチームの合宿支援や文化講座の開催によって相互交流を促進する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タイバドミントンナショナルチームの合宿支援 ・タイバドミントン選手と町民や小中学生との交流 ・タイ文化講座の開催 				
事業の対象	町民				
事業費 (千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	20,053	1,546	5,263	695	2,009
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイバドミントンナショナルチームの事前キャンプの受入態勢を整備 ・タイ王国との国際交流の機会の拡大 				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイバドミントンナショナルチームが7月25日～31日に秋田市で開催されるヨネックス秋田マスターズ大会に向けて美郷キャンプを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため大会が中止となった。 ・タイ王国関係者と町民等がより交流しやすく、またより交流を深めることを目的に設立した「タイ王国ファンクラブ『プーアン』」の活動として、8月22日～23日に東京都で開催された世界バドミントン選手権2022に東京都在住の会員1人と町職員3人が「タイ選手ががんばれ」と書かれた横断幕を掲げてタイ王国の選手を応援した。なお、秋田マスターズ大会が中止となったことから応援団派遣も中止とした。 ・JAL特別協力によりJALのタイ人キャビンアテンダントを講師に迎え、タイ文化講座を開催予定だったが、教育交流事業が新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったため、同事業も中止とした。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない		
判定説明 及び考察	<p style="text-align: center;">C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止により事前合宿は中止となったが、ホストタウン推進事業として、東京で開催された国際大会においてタイバドミントンナショナルチームを応援した。今後も東京2020オリンピックを契機としたタイ王国との交流を継続し、文化・教育・経済の交流を推進していくことは必要と考えるが、費用対効果を意識した内容を検討するなどの見直しが必要と考える。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input checked="" type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	—	評価委員意見	事業の多くが新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となっているが、やむを得ない事情によるものであり、これを受けて評価を行うことは、正確性に欠けるため、評価なしとする。		